異色の空手家 現役美女消防士 東京五輪 大野ひかる 金メダル候補 名乗り!!

20年東京五輪で新種目に採用された空手のトップ選手が集う国際大会、プレミアリーグ・パリ大会の女子形を制した大野ひかる(24)＝大分市消防局＝ら日本代表が31日、羽田空港に帰国した。大野は、地元の大分市で消防局員として働きながら、東京五輪を目指して競技に打ち込む異色の空手家。世界選手権連覇の清水希容(23)＝ミキハウス＝が君臨する同種目だが、たくましき女性消防士が金メダル候補に名乗りを挙げる。

2020年7月24日 TOKYO 2020 開幕 東京五輪 あと1269日

消防学校での過酷訓練乗り越え"両立"

有事があれば現場へ―「地元に恩返しがしたかった」

プレミアリーパリ大会 女子形 V凱旋

大分で勤務

屈託のない笑顔は、厳しい世界に生きる普段の姿を感じさせない。シニアの個人戦で初のタイトルを手に凱旋した大野は「チャンスをもらった中でものにできた。自信になる」と、胸に輝く金メダルを掲げた。

道着を脱げば、故郷を守る女性消防士の顔を持つ。現在は競技に集中させてもらっているため事務仕事が主だが、入局後の半年間は消防隊員として現場に出動した。同大卒業後に、消防士を志したのは「地元に恩返しがしたかった」から。消防の求人を見た時に「体力的にも、自分が一番自信を持って働ける場所だと思った」という。

もっとも、消防学校での訓練は想像を絶するものだった。同期20人の中、女性はたった一人。真夏の炎天下に火災防御訓練や、ホースや重い装備を背負っての訓練に「つらいのは覚悟していたけど、本当にしんどかった。1日が終わるとへロヘロでした」と打ち明ける。

それでも、気持ちが揺らぐことはなかった。「辞めようと思ったことはない。自分が決めて入ったので」。今でも、有事があれば現場に出ることもある。命を預かり、一分一秒で状況が変わる過酷な仕事と向き合うことは、空手にもつながった。

「メンタルは格段に上がったと思う」。女子形には、世界選手権を連覇した清水という"絶対女王"が君臨する。学生時代からのライバルだが、一歩も引くつもりはない。「希容ちゃんの存在は刺激になっているし、お互いそうだと思う。競い合いながら、金メダルを獲りたい」。故郷を守るため、夢をかなえるため、もっともっと強くなる。

（大上謙吾）

女王・清水に負けない「競いながら金を」

◆空手・形　空手の種目には、1人ずつが演武の出来栄えを競う「形」と、1対1で対戦する「組手」がある。「形」は青と赤に分かれて1人ずつ演技し、定められた技の正確性や練度、緩急、スピードなどの要素を競い、両者が演技した後に審判5人が旗を上げ、本数の多い方で勝敗が決まる。形には階級がなく、組手には階級がある。現時点で東京五輪の代表枠や試合形式などは未定。

現在の女王は清水希容

◆女子・形の現状　世界選手権で連覇した清水希容が頭一つ抜けた存在となっている。昨年の同選手権では準決勝で審判4人が旗を上げる4―1を除き、5試合中4試合で審判全員が旗を上げる5―0の完勝。現時点で東京五輪の金メダル最有力候補だ。昨年の全日本選手権決勝で清水と争った大野も十分に世界の頂点を狙える。海外勢ではフランス、スペインといった欧州勢や、エジプトが力を付けつつある。

WHO'S WHO

大野ひかる　1992年8月30日、大分市出身。先に競技を始めていた2歳年上の兄の影響で、小学1年生から市内の道場で空手を始めた。形にも組手にも取り組んでおり、大分南高時代に1年生で国体優勝。3年時には選抜、総体、国体で国内3冠。世界ジュニアでは組手と形で2冠を達成した。同大を経て、大分市消防局へ入局。午前8時から午後6時までの勤務後、午後7時から10時まで練習に励む。155㌢、51㌔。家族は両親と兄。

◆空手・プレミアリーグ　世界のトップ選手が出場する世界空手連盟(WKF)が主催する最高峰リーグ。今季は5大会が行われ、パリのほか、オランダ・ロッテルダム大会(3月)、アラブ首長国連邦・ドバイ大会(3～4月)、モロッコ・ラバト大会(4月)、ドイツ・ライプチヒ大会(9月)が予定されている。